

1 【活動の趣旨】

創立 131 周年の歴史がある本校は、様々な場面で多くの地域の方から支えられてきた。平成 28 年 4 月に老上西小学校が新設され分離したが、駅周辺の開発により、今後も児童数が増加する中で、地域の方が本校に寄せる思いは引き続き熱いものがある。

地域協働合校の取組を通して、子どもたちが身近な地域の方の考え方や人柄などにたくさん触れ、ふるさとを愛し、豊かな人間性を身につけてほしいと考え、実践している。

2 【特徴的な活動内容】

○ふれあい老上まつり

昨年度まで老上西小学校区と共同開催していたが、今年度より老上小学校区だけで開催されることとなった。第 1 日目は小学校での学習発表、第 2 日目は小学校区挙げての「まつり」となり、子どもたちを中心に地域全体の「ふれあい」の場となった。

学習発表会の会場準備なども担ってくださり、華やかな会場で大勢の保護者・地域の方に来校いただいたの「まつり」となっている。



【 ふれあい老上まつり 】

○花ボランティア・ルンルン

昨年度から子どもたちの委員会活動とも連携し、花の世話を一緒に進めていただいている。子どもたち自身が環境整備を進めながら、保護者や地域の方との触れ合いが増す取組となっている。



【花ボランティア・ルンルン】

3 【実施に当たっての工夫】

- ・昨年度創設したサポーターバンクを活用して、クラブ活動や家庭科の学習など実習を伴う場面でのサポートをはじめ、校内外の体験活動など様々な場面で支援していただけるように今後も工夫していきたい。
- ・ボランティア同士の交流が図れるよう、学校図書館サポーターと読み聞かせボランティアで合同懇談会を開催している。

4 【事業の成果】

- ・花ボランティアやサポーターバンクのように、学校に関心を持ち「できる範囲で少しずつサポートをしていこう」という形で関わってくださる支援の輪が広がっている。
- ・子どもたちが地域の方の支援に触れる場面が増え、地域の方やふるさとへの愛着を感じ、豊かな人間性を養うきっかけとなる取組となっている。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

- ・取組を充実させるため、入念な打ち合わせや準備等が必要となる。学校・地域双方の負担を軽減するため、地域コーディネーターの果たす役割が必要不可欠となっている。